

同社はネーミングライツを通じて同施設の運営を支援し、綾部市民が笑顔で楽しい活動ができることを応援していきたいと

▽ネーミングライツ名 称「あやべ・日東精工スタジアム」▽ネーミング付与対象施設「綾部

料金15年間総額1,000万円(年額200万円)▽ネーミング付与権利期間12022年3月1日~2027年2月

は、デジタル測定機器に超小型無線送信器(トランスミッター)を取り付け、パソコンに接続された無線受信機(データレシーバ)を経由して、無線で測定データをパソコンに自動入力するためのシステム機器となる。

「ブランカ」開発

SUSねじ焼付防止表面処理

SST試験5000時間クリア

【神戸鉄工所(本社)東大阪市高井田西5-4-8。神山貴至社長はこの度、SUS製ねじ向け表面処理技術「ブランカ(Blanca)」を開発。従来のドリルねじでは不可能であったステンレス鋼板にも施工できる硬い表面を有しながら、SST試験で5,000時間を超える高い耐久性を誇る。トルク軽減効果もあり施工性も向上する。環境に配慮したRoHS指令およびREACH規則対応であるほか、皮膜には自己修復機能が付帯され耐食性を維持できるという特長がある。また、表面処理は、SUS410やSUS304などのステンレス製品全般に対応可能。

「ブランカ」は、主にドリルねじやタピンねじ類を製造する当社において、長年に渡り培われてきた実績やノウハウ、ユーザー側の意見等を反映させて、耐食性および施工性などを考慮の上で開発されたもの。ドリルねじ用の表面処理である事を前提に研究が進められ、材料自体のコストや熱処理による表面硬化などを踏まえてS

US410製ねじ類向けで展開しているが、SUS410以外のステンレス製品にも対応できる。焼付き防止・高耐食・自己修復機能が最大の特長となっており、JIS Z2377-1準拠の塩水噴霧試験で5,000時間を経過しても赤錆発生が見られず、また塩害地域での野外暴露試験においても同様に5,000時間の経過でも赤錆発生なし。犠牲防食で相手材も錆から守る。母材がアルミ板やガルバリウム鋼板であっても電蝕発生が見られない。

自己修復機能が付帯されている事から、施工時にねじ先やねじ山が傷付

いて表面処理が剥がれるといった心配がなく、従来品の事例としては、表面の剥がれた箇所から錆が発生して取り外しが困難であったというケースがあり、その防止にも繋がっている。

また、表面が硬いため板厚2mmのステンレス板にも下穴なしで施工可能であり、社内研究では従来品はねじ込み時に焼付きが発生してねじ山形状にも影響があるが、ブランカ処理品では焼付きが発生せずねじ山形状も保たれたまま(※画像参照)といった結果となっている。そのほか、ねじ込みトルクも軽減されるため電動工具のバッテリー長寿命化にも貢献が期待できる。

製品名の由来はスペイン語で白を意味して

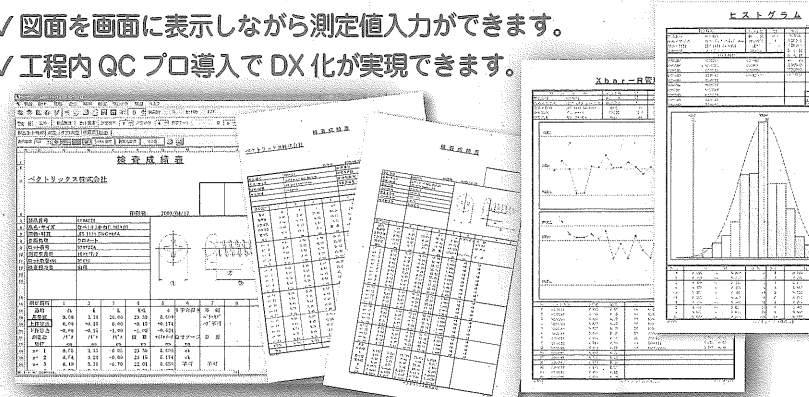
を設けることが大切です。境界線は、自宅の垣根のようなイメージです。外の人とも交流するけれど、門を閉めれば家庭内が侵されることはありません。2022年は、境界の内側にいる人、すなわち家族や身近な人たちとの関係性がより大きな影響をもたらします。たとえ世界中の人がNoと言っている、隣にいる人がYesと言ってくれたらとても大きな支えになりますよね。自分の存在が、目の前にいる人の幸せに大きく寄与しているという意識をお互いが持つことで、とても平和で安定した世界が築かれます。そのコミュニティが、今年の大きな強みとなっていでしょう。

ここでいつものワンポイントアドバイス。インディゴは休息の色ですが、使いすぎると動く気力すらなくなってしまいます。使いすぎにはどうかご注意あれ!

QCプロ 品質管理 PCソフトウェア

テレメジャーII対応 **QC PRO**

- ✓統計的手法に基づいた抜き取り検査に最適です。
- ✓管理図が瞬時に作成できます。(オプションソフト)
- ✓図面を画面に表示しながら測定値入力ができます。
- ✓工程内QCプロ導入でDX化が実現できます。



検査成績表を瞬時に作成

ベクトリックス株式会社 〒171-0043 東京都豊島区要町1-4-11 サダシン要町ビル

03-5995-3800 http://www.vectrix.co.jp/

同製品に関する詳細・問合せ等は神戸鉄工所まで(電話番号06-67801-2010)。

【神戸鉄工所(本社)東大阪市高井田西5-4-8。神山貴至社長はこの度、SUS製ねじ向け表面処理技術「ブランカ(Blanca)」を開発。従来のドリルねじでは不可能であったステンレス鋼板にも施工できる硬い表面を有しながら、SST試験で5,000時間を超える高い耐久性を誇る。トルク軽減効果もあり施工性も向上する。環境に配慮したRoHS指令およびREACH規則対応であるほか、皮膜には自己修復機能が付帯され耐食性を維持できるという特長がある。また、表面処理は、SUS410やSUS304などのステンレス製品全般に対応可能。

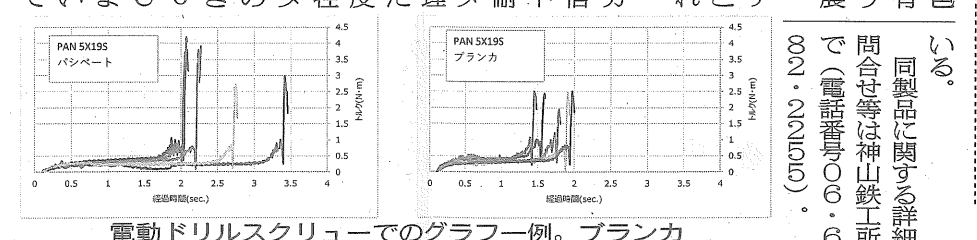
US410製ねじ類向けで展開しているが、SUS410以外のステンレス製品にも対応できる。焼付き防止・高耐食・自己修復機能が最大の特長となっており、JIS Z2377-1準拠の塩水噴霧試験で5,000時間を経過しても赤錆発生が見られず、また塩害地域での野外暴露試験においても同様に5,000時間の経過でも赤錆発生なし。犠牲防食で相手材も錆から守る。母材がアルミ板やガルバリウム鋼板であっても電蝕発生が見られない。

自己修復機能が付帯されている事から、施工時にねじ先やねじ山が傷付

り、生地はステンレス色を損なわない美観性を有する。今後は、黒色やブロンズ色パージョンの展開も構想されている。

同社生産および調達アイテムへの表面処理品として順次販売が進められる予定。

神山社長は「ブランカはパシベートより約10倍高耐食です。ジオメットと比較しても約5倍高耐食ですがコストはジオメット同等に抑え、同処理の普及拡大につなげた。またブランカでは皮膜の自己修復機能、犠牲防食機能があるためカタログ表記ではなく、実際の施工で耐食性を発揮できると考えています。RoHS指令およびREACH規則にも対応していますので、安心してお使いいただけます」と述べて



電動ドリルスクリューでのグラフ一例。ブランカの方がトルク、経過時間ともに約30%減となる

に務める。

新役員の詳細については次の通り。

▽代表取締役会長 和田正氏。

尚氏、中村将司氏、福園和丸氏、高野栄求氏、金銅淳氏、小口隆義氏。

▽監査役 小野英明氏。